



--- 3副会長のことば ---

1区 青木繁義



高田西地区の1区を担当しております。町内会の各行事・イベントを通じ、近隣住民のお付き合いを大切にする事で、地域の安全、災害時の助け合い等住み良い町にしたいと考えております。皆様の町内会行事への積極的な参加をお願いいたします。

2区 相沢 一夫



高田東地区の2区を担当し、副会長は11年目になります。町内会では、地域交流イベント・スポーツ大会・高齢者支援・子育て支援・防犯パトロール・地域清掃など様々な行事活動を実施しており、会員皆様と安心して住みやすい高田のまちを築いて行こうと思います。

3区 北見 喜重



生まれも育ちも高田で、3区の担当をしています。3区は地域全体が市街化調整区域に指定され、大半が畑で緑豊かな街です。高田地区は幸い非行や犯罪がほとんどなく、とても住みやすい環境が整っています。いつの日にか、昔の日常を取り戻し町の活性化に少しでも協力出来ればいいなと思っています。

新型コロナに係る町内会活動について

5月・6月の町内会活動自粛中、役員会はオンライン会議を行い、理事・班長への伝達はポスティングによる連絡等の取り組みを行いました。

さて、新型コロナウイルス感染症の収束は先が見えません。引き続き「密閉・密集・密接」を避け、マスクと手洗いの励行、快眠快食により、感染防止対策をしながら気を付け合う日常生活が必要になっています。これからも危機感をもって個人の健康と、地域の安全安心を目的に明るく支え合って新型コロナウイルスを乗り越えていきましょう。

新型コロナウイルス対応の町内会活動は、次の通りです。

活動自粛と7月からの活動

- (1)「町内会回覧板」と「広報配付」は6月まで活動停止、7月から活動開始
- (2)「元年度総会報告書」と「高田町内会だより第27号」は6月まで配付停止、7月に配付
- (3)4月・6月の班長会は中止、今後の開催は3密を避ける方法で検討
- (4)6月まで高田研修所会議室の貸出しは中止、7月から大会議室のみ貸し出し開始

* 利用にあたっては「感染防止措置項目」の作成と利用者への配布、および研修所に手指消毒用アルコールジェルや除菌用アルコールスプレー等を整えた。

- (5)7月の高田町内会納涼盆踊り大会は中止
- (6)5月の高田西公園清掃は活動中止、6月から密接を避け、咳エチケットを守り開始
- (7)10月の第47回高田地区大運動会(連合町内会行事)は中止

河川愛護月間清掃活動にちなんで

7月は河川愛護月間です。高田町内会は7月4日(土)午前8時30分～9時30分に御霊橋から中里橋間と、高吉橋から高田橋間の清掃を予定していましたが、時折降る雨のため中止となりました。

参加を申し込んでくれていた班長とそのお子さんもおり、大変残念でした。



片づけた不法投棄ゴミ



日常除草しているボランティア

町内会では7月4日の天気予報が思わしくなかったため、側道に投棄されていた粗大ごみだけでも片づけることにしました。7月2日、急遽4名の理事により撤去作業を行いました。

早淵川の側道は散歩やジョギングされる方が多く、港北土木事務所依頼の業者による整備作業の他に、日常自主的に除草やゴミ拾いをして下さる方々がいまいます。土手の法面は、当初高田側で行われていましたが、今では新吉田側でも行われるようになりました。

今年は5月に鴨の親子の姿があり、また川の宝石とも呼ばれているカワセミの姿も見られます。散歩の折は川面に目を凝らして見つけてはと思います。



高田って どんどころ？ -24-

早淵川に架かる橋

今年3月末「高吉橋」が、住民の希望があつて歩道だけが先に通行できるようになりました。これで高田地区と対岸を結ぶ橋は5橋で、上流から順に御霊橋(ごりょうはし)⇒稲坂橋⇒中里橋⇒高吉橋⇒高田橋です。この下流には順に峰大橋・吉田橋・三步野橋の3橋が港北区域地区にあります。いずれも昭和48～57(1973～82年)に架けられました。

橋の命名には、それぞれ意味があるようですが、御霊橋だけは平安時代後期に実在した武士(鎌倉権五郎景政)に関係しています。どんな関係なのでしょう。尚、この人物をまつた神社が鎌倉にあり、司馬遼太郎の「街道をゆく 42」(朝日文庫)に書かれています。又、稲坂橋はパイプラングラー橋で赤いアーチのある一際目立った人道橋(車は通れません)です。「高吉橋」が架かる前は、中里橋～高田橋の間が約500m位も離れているので、対岸と



高吉橋

高田地区とを行き来するのに不便でした。この橋の「橋名板」は、高田中と新田中の生徒が揮毫しました。



稲坂橋

編集後記 コロナ禍により、町内会の4月からの行事は、ことごとく中止となりました。この町内会だよりは、活動を会員の皆様にお知らせする事が重要と考えております。今号では記事が少なく、やむなく A4一枚の縮小版にしました。断腸の思いです。頁数は少なくとも想いは熱く、「見せる、魅せる」そんな紙面を作ります。(S.K)